

クイズをつくろう① わたしはだれでしょう？

これから黒板に書く「わたし」とはだれでしょう？ わかったところで、答えを書いてください。

では、みんなも、クイズを作ってみましょう。

① まずは練習です。「えんぴつ」について書いてみましょう。

見本

① えんぴつの色について、短く書いてみましょう。

② えんぴつの見た目について、色以外のことを書いてみましょう。

③ えんぴつの使いみちについて、短く書いてみましょう。

④ えんぴつを使うと、どんな音がしますか。

2

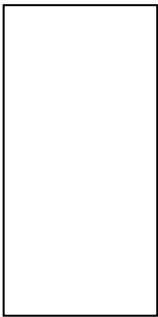
つぎに、**1**で書いたことがクイズになるかどうか考えてみましょう。

① えんぴつのは、だれがもっているえんぴつでも同じですか。

人によってちがったら、クイズになりませんよね。

だれがもっているえんぴつでも同じ色をしているのは、どの部分でしょうか。

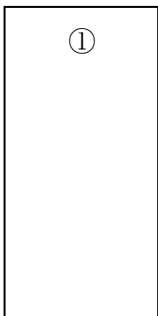
えんぴつの



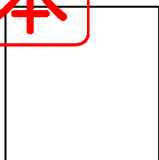
の部分。

でも、このことばを使うと、すぐにばれてしまいそうです。ちよつと言いかえてみましょう。

えんぴつを人間にたとえると、その部分はどこにあてはまると思えますか。



では、その部分は、何色ですか。

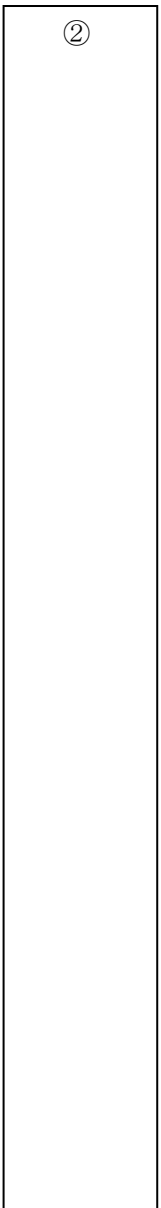


色

これも、そのまま書いたのではつまらないですね。ほかのものにたとえてみましょう。

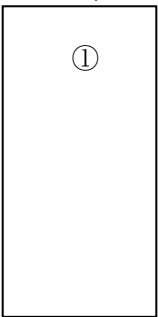
その色をしているものは、ほかに何がありますか。たくさん考えてみましょう。

見本

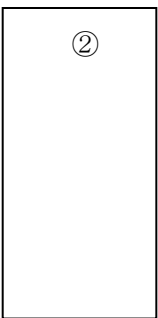


いま考えたことをまとめると、こんなヒントができます。

わたしは、



のところが



のような色です。

よく考えるとわかるけれど、すぐにはばれないヒントになりましたね。

② ①で考えたように、すぐにわかってしまうヒントではこまります。

見た目について「細長い」と書いたとしても、糸のように細長いのか、それとも剣道の竹刀くらい長いのかでは、ずいぶん大きさがちがいますね。

かといって、「ボールペンと同じくらい長さ」などでは、すぐに答えがわかってしまいます。どんなふう to 書けば見た目が想像しやすく、すぐに答えがばれない書き方にできるでしょうか。

③ この答えはみんな同じようなものになったと思います。字や絵をかくために使うのがふつうですね。「ふつう」ということは、とてもよいヒントになりますが、そのぶん、答えがばれやすくなってしまいます。そこで、ちょっと見かたをかえて、つぎのようにしてみましょう。

使うたびに

なりません。

これなら、消しゴムやセツケンも同じですから、すぐに答えがばれたりしませんね。

見本

④ ここは人によっていろいろな音が出てきたのではないのでしょうか。そのままでもヒントになりますし、にている音をさがして「○○のような音」としても、いいですね。

例) カリカリ ↓ ネズミがかべをかじる音

クイズにするための方法がわかってきたかな？

3

では、こんどは自由にテーマを決めて、クイズを作ってみましょう。

テーマ(答え)

① それは、どこにあるものですか。

② それは、どんな色で、どんなかたちですか。

③ それは、においがしますか。するとしたら、どんなにおいですか。

見本

④ それは、どんなときに使いますか。使うと、どうなりますか。

⑤ それは、どんなときに、どんな音がしますか。

できた人は、もっと作ってみましょう。

テーマ(答え)

見本

--	--	--	--	--	--	--	--

おうちに帰ったら、ぜひおうちの人に問題を出してあげてくださいね！